

大型空き店舗を子育て・高齢化など消費者ニーズに対応したコミュニティ施設・創業者支援施設などとして活用し、来街者の増加に貢献。

## 山形商工会議所

機関名	山形商工会議所			
所在地	山形市七日町3-1-9			
電話番号	023-622-4666			
地域概要	(1)管内人口	255千人	(2)管内商店街数	61商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	3商店街	(2)会員数	195商店
	(3)空店舗率	6%	(4)大型店空き店舗数	0店舗
	七日町商店街振興組合、(協)旭銀座のれん会、一番組商店街振興組合			
商店街の類型	1.超広域型商店街	2.広域型商店街	3.地域型商店街	4.近隣型商店街

### 【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（複合施設）

- ・乳幼児一時預かり事業
- ・高齢者交流サロン

総事業費 16,814千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

山形市は、山形県の県庁所在地として発展し、悠久の歴史と豊かな文化、美しい自然と社会的基盤など、本市の個性というべき固有の環境を有している。しかし、近年のモータリゼーション進展、郊外への商業集積等商業環境の変化により中心市街地としての機能が低下しつつある。平成12年には、山形ビブレ、山形松坂屋といった大型店が閉鎖し、山形市中央部の商業環境が急変し、空洞化傾向の加速が危惧されている。

また、中心部へ買物へ来る消費者向けの一時託児機能や、高齢者が気軽に集まり趣味活動等を通して仲間作り・生きがい作りをする場所が求められていた。これらの背景から平成14年より旧山形松坂屋ビルの上階フロアを賃貸し、中心市街地の消費者の利便性向上・コミュニティ形成を図るために利用することで、空き店舗解消、高齢化社会などへの対応を図った。

本事業は「ナナ・ビーンズ事業」と称し、商店街の機能強化と来街者の利便性向上により集客力を強化し、中心商店街の活性化に寄与することを目的としている。



ナナ・ビーンズ位置図

(ナナ・ビーンズHPより)

## 2. 事業内容

旧山形松坂屋ビルの4階から8階のフロアを山形商工会議所がビル所有者から賃借整備し、全体の管理運営は山形商工会議所が行い、各フロア個別の運営は専門の団体が行っている。

平成14年6月29日に4階、5階をオープン、同年9月28日に全館をグランドオープンした。このうち5階の「子育てランドあ～べ」と「高齢者交流サロン」について、コミュニティ施設活用事業を活用している。両施設だけで年間8～9万人の利用者があり、中心街への来街者増に貢献していることから、平成16年度も引き続き実施することとした。

### (1) フロア全体構成

		名 称	運営団体	支援機関
公共的 利用	8 F	スポーツプラザ 21	(社) 山形県スポーツ振興 21世紀協会	山形県
	7 F	学習空間 mana-vi	子ども育成ボランティア・山形	山形市
	6 F	山形県芸文美術館 (ギャラリーなな)	山形県芸術文化会議	山形県
	5 F	・子育てランドあ～べ ・高齢者交流サロン ・やまがた伝統こけし館	NPO法人やまがた育児サークルランド 山形市老人クラブ連合会 社団法人山形市観光協会	山形市
	4 F	・飲食店チャレンジショップ 「アナキス」 ・インキュベートオフィス	創業支援シーズネット	山形市
	3 F 2 F 1 F	民間商業テナント (ビル所有者が誘致)		
B 1		有料駐車場 41台 (ビル所有者が整備)		

※ ビル建築年：昭和48年（築31年）

延床面積：20,411 m<sup>2</sup>

◎ 全フロア：毎週木曜定休日（4階インキュベーションオフィスを除く）

### (2) 「子育てランドあ～べ」の概要

①施設機能：乳幼児の一時預かり、個人及びグループでの遊び場、育児情報交換、相談やカウンセリング

②施設概要：託児所、遊び場、相談室、研究室、図書情報コーナー、授乳室、親子トイレ、事務室

③利用対象：親子（子どもは主として就学前の児童）

④人員体制：事務員5名、保育者34名（シフト制）、事務スタッフ4名

⑤主な実施事業

#### 1) 子育て支援一時預かり事業

託児の理由を問わない一時預かり及び催し等の臨時託児を実施している。対象は生後6ヶ月から就学前の乳幼児、料金は最初の1時間500円で以降30分ごとに250円、1回の託児は最長で3時間までとなっている。

2) 子育て支援親子交流事業

おやこの遊びコーナーと情報コーナーを常設し、自由来館型の遊び場と子育て情報の提供及び育児サークル等の支援、イベント等の開催をしている。

3) 子育て支援親子学習事業

パソコン講座、子育て関係のボランティア講座、子育て中の親の人材育成講座、育児に関する講座など子育て関係の講座を開催している。

4) 子育て支援育児等相談事業

子育て等に関する相談を受けている。相談メニューには、発達相談、気軽に育児相談、サークル相談、絵本相談、再就職相談、子育てカウンセリングなどがある。

(3) 「高齢者交流サロン」の概要

①施設機能：高齢者が集い、趣味活動や談話、交流ができるスペース

②施設概要：和室2室、会議室、事務室、ロビー

③利用対象：高齢者全般

④人員体制：役員1名、事務員1名、臨時職員2名

⑤主な事業内容

90畳の広い和室と会議室、展示スペースがあり、無料での利用が可能である。特別事業としてクリスマスファンタジー講習会、正月飾り講習会、新春囲碁大会などを開催している。

(4) その他の施設の概要

①山形インキュベートプラザ(4階)

新規創業や新たな分野の事業開拓など起業家を支援する施設で「インキュベートオフィス」と飲食業の起業家を支援するチャレンジショップ「アナキス」がある。

②やまがた伝統こけし館（5階）

みちのくに伝わる様々な古品、名品こけしを展示する施設で、絵付け体験もできる。

③山形県芸文美術館（6階）

文化活動の推進の場として、絵画や書道、写真などの作品展示等を通じた交流などができるギャラリーとして活用している。

④学習空間 mana-vi（7階）

中・高校生や一般社会人が自主的・自発的に学習するスペースを提供している。

⑤スポーツプラザ21（8階）

サッカーJ2のモンテディオ山形、バレーボールVリーグバイオニアレッドウイングスなどのプロ選手とファンとの交流イベントや、大型スクリーンを利用したスポーツ放映イベントなどを実施し、競技スポーツ・観るスポーツの振興に活用している。

(5) 平成15年度との比較

①子育てランドあ～べ

毎月の定例行事として、15年から引き続き行っている「お誕生日会」、「すくすく成長記録日」は利用者が定着してきていて、これらを目当てに来館する親子が増えてきている。これに加え、新たに山形短期大学の学生による「おはなしランド」と、スタ

ツフによる「読み聞かせタイム」をそれぞれ月1回開催した。この他、地域で活動している育児サークルに来館を呼びかけ「おやこ広場」の利用を促した。

## ②高齢者交流サロン

平成15年度は「女性愛好者の利用拡大を図りたい。」「手工芸教室の開催を積極的に実施したい。」という課題があったが、おしゃべりをする女性グループの姿が目立つようになり、また、手工芸教室も年間13回開催することができた。

### ＜ナナ・ビーンズの3ヵ年の利用者数＞

(単位：人)

		平成14年6月～ 平成15年3月	平成15年4月～ 平成16年3月	平成16年4月～ 平成17年3月
4階	インキュベートオフィス	16,039	14,319	19,711
	チャレンジショップアナキス	158,302	242,329	220,569
5階	子育てランドあ～べ	31,090	37,039	39,814
	高齢者交流サロン	25,705	48,212	49,162
	やまがた伝統こけし	54,700	51,707	38,824
6階	山形県芸文美術館	44,898	52,578	43,509
7階	学習空間 mana-vi	35,801	58,893	60,118
8階	スポーツプラザ21	39,852	33,185	45,377
合 計		406,387	538,262	517,084

## 【 効 果 】

### 1. 来街者の行動

松坂屋の閉店前同様とまではいかないまでも、ナナ・ビーンズの利用者数の増加により、商店街への来街者が増加した。特に子育て支援施設を利用する子連れの若い女性層が増えた。

### 2. 市民の交流の場

高齢者交流施設は、広い座敷にいくつものテーブルが並んでおり、囲碁や将棋を楽しんだり、おしゃべりをしたりで、毎日午後になるとたくさん的人が集まってくる。また、高齢者でなくとも、誰でも利用できる施設であり、中学生、高校生が高齢者施設で勉強したりなど、世代を超えた市民の交流の場となっている。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

### 1. 人的体制

大型店舗であるため、商工会議所のノウハウだけでは対応できないところもあり、行政、商店街などからの人的支援を含んだ協力体制が必要である。

### 2. 事業の合意形成

事業を実施するに当たっては、関係団体等との連携が重要であるため、県、市、入居者団体、ビルの所有者、近隣商店街等と定期的に会議を開催し、情報交換を行って運営した。しかし、1階～3階の民間テナントとの合意形成が難しいケースもあり、今後、民間テナントや商店街と連携したイベント等を開催し、一層の相乗効果を狙いたい。

**【事業の実施ポイント】**

大型店の空き店舗を活用した事業を継続して行うには、予算・経費などの確保が重要であり、人的な協力も含め、行政からの支援がなければ難しいと思われる。

**【関連URL】**

ナナ・ビーンズHP <http://www.yamagata-cci.or.jp/nana/>

山形商工会議所HP <http://www.yamagata-cci.or.jp/>